

「我が校の教育」特色ある活動紹介

市内の小中学校 全30校を毎月紹介します

第14回

郡上市立 北濃小学校
郡上市立 西和良小学校

北濃小学校

現在72人の児童が、よく遊び、よく食べ、よく学び元気に学校生活を送っています。その源には、励まし合い認め合える温かい人間関係があります。男女や学年の差を超えた協力的な仲間関係を育んでいる自慢の活動があります。それが「なかよしグループ活動」で、1年を通して活動母体となる行事や活動がたくさんあります。

なかよしスポーツ大会

児童の運営委員会が中心となって企画・運営します。6グループの対抗戦です。競技内容のメインは「大縄跳び」。今年も、「みんなで声を出してね」とリーダーの力強いかけ声の下、練習がスタートしました。「みんな一緒に数を数えると、心が一つになって記録も伸びる」ということを実感していきます。



持久走大会への取組

持久走は個人種目であるにもかかわらず、取組はなかよしグループを生かして行っています。グループ内の低学年と高学年がお互いに周回数を数え合ったり、応援し合ったりするのです。「一生懸命は気持ちがいい」「一生懸命は応援したくなる」という心を膨らませていきます。

心をつなぐ会

1年の最後に、お世話になった6年生リーダーたちと、お互いに感謝の心を伝え合う会です。グループごとに分かれ、6年生を囲むようにしてプレゼントを渡し合う場面があります。昨年度の6年生は、下級生一人ひとりにその子のよさや思い出の場面を思い浮かべながら漢字一文字を選んで台紙に書き、温かい言葉と一緒に手渡してくれました。心温まる光景や、思わず涙ぐむ姿が見られます。



その他にも、日常の清掃活動

1年生を迎える会、図書館祭り等、なかよしグループで取り組む事を通して、弱い立場の子にどう関わったらよいか体験的に学びます。また、下級生は自分が嬉しかったことを大きくなったらしてあげたいという気持ちを育てつつ、成長していきます。

北濃小学校長 山田尚人

西和良小学校

今年度、西和良小学校では、個人のめあてを大切に取組んでいます。一定の期間で「がんばりたいこと」を自分で決めたものです。例えば、

- 「やまびこ挨拶」を大きな声でする。
- 誰にでもポカポカ言葉を使っている、仲間と仲良くする。
- 最高学年として、全校活動の場で、ゆずり合ったり、思いやったりして、低学年に良い姿を見せる。

といっためあてが児童玄関に掲示されています。このめあての達成に向かって、帰りの会で振

り返りをしています。そんな中で全校児童ができていく財産に

「やまびこ挨拶」があります。朝、登校してきた子どもたちは校庭に響き渡る大きな声で「おはようございませう」と挨拶をします。すると、その声に気付いた校舎にいる仲間や職員が、「おはようございませう」とあいさつを返します。これは、子どもたちがアイディアを出し合い始めた委員会の活動で、毎日継続していることです。「やまびこ挨拶」とは、うまく命名したものだあと感じます。



また、地域の人の協力を得て、今年度初めて「田植え体験」を行いました。初めて田植えをする子どもたちが多く、最初はこわごわ田んぼに入っていました。徐々に表情も生き生きし、楽し

い体験活動になりました。本校では、極小規模校の特色を生かして「ちごのねキャンプ」という宿泊研修を実施してきました。今年度は、全員で地域探検と校区にある鍾乳洞見学の後、飯盒炊爨、キャンプファイヤー、さらに高学年は学校での宿泊体験をしました。「仲間と助け合い、ふるさとの良さを見つけよう」というスローガンの下、自然に親しみ、仲間との思い出深いキャンプになりました。



様々な体験活動を通して、仲間と一緒に汗を流して活動したこと、地域の人に優しく対応していただいたことなど、学ぶことはたくさんです。仲間との絆を深めたり、地域のみなさんの温かさに触れたりします。子どもたちが、地域のみなさんへ感謝の気持ちをもち、ふるさと西和良への愛着や誇りをもって育っていくことを願っています。

こうした「温かな関わり」を大切にして、自分を、仲間を、郡上を大切にできる西和良の子を目指しています。

西和良小教頭 山田和浩